

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告

都道府県名	34.広島県
自治体区分	都道府県

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先	
344621_世羅町	②学校と地域の課題	青少年の健全育成	各地区に存在していた学校が、統廃合により4小学校・3中学校までに減少した。その結果、子供の登下校の手段も変わり、地域と子供の関わりが減少している。	学校・家庭及び地域住民相互の連携・協働を推進するため、学校を核として地域住民参画や地域の特色を生かした事業展開を推進する。	学校運営協議会のメンバーである、地域の自治組織が主体で運営する放課後子供教室を開催することで将来地域を担う子供を育成する。	地域主体型の放課後子供教室の実施地区数	5		7	4	2	既存の教室は5地区中3地区での実施となり、新規で1地区が実施されたため合計で4地区となった。今なお新型コロナウイルス感染症の影響を受け、教室の実施が難しい現状にあることが、実施数減少の要因と考えられる。地域と子供の関わりを増やし、地域を担う子供を育成するために、コロナ前とは別の実施方法も視野に入れていただきながら、取り組みを続ける必要がある。	https://www.town.sera.hiroshima.jp/soshiki/10/12045.html